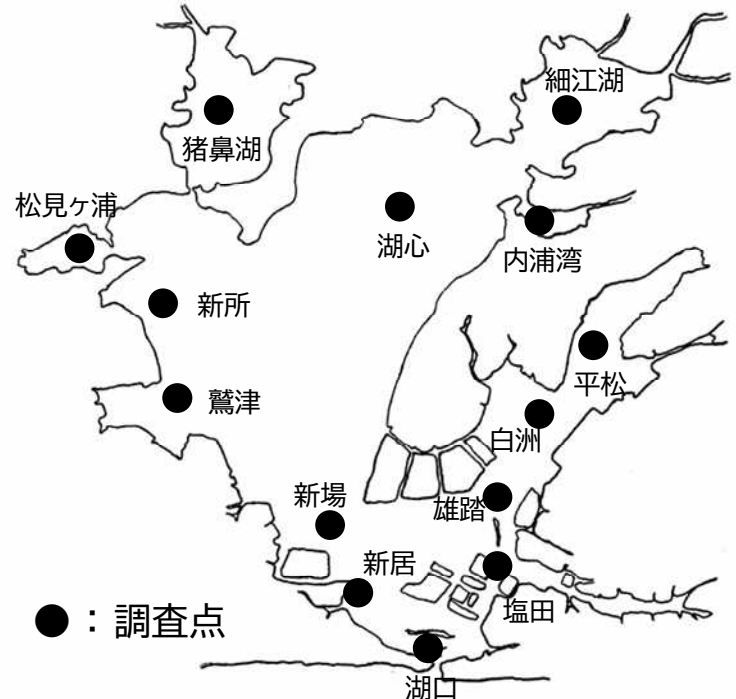


# 令和5年度 浜名湖プランクトン・海況調査速報 No.3

地点	水深(m)	水温(°C)	塩分	有害・有毒プランクトン
内浦湾	0.0	22.0	6.1	発生なし
	2.0	22.1	15.6	ケラチウム・フルカ (10細胞/mL未満)
	4.0	21.8	23.9	ディノフィシス属 (10細胞/mL未満)
細江湖	0.0	20.3	1.0	発生なし
	2.0	20.7	18.5	ケラチウム・フルカ (30細胞/mL程度)
	4.0	21.6	26.6	ディノフィシス属 (10細胞/mL未満)
湖心	0.0	21.4	6.9	発生なし
	2.0	21.9	19.0	発生なし
	4.0	21.0	25.3	発生なし
	6.0	20.4	27.4	発生なし
猪鼻湖	0.0	21.7	2.0	発生なし
	2.0	20.8	6.4	発生なし
	4.0	21.3	23.5	ディノフィシス属 (10細胞/mL未満)
松見ヶ浦	0.0	21.5	11.0	発生なし
	2.0	21.6	19.6	発生なし
新所	0.0	22.5	9.7	発生なし
鷺津	0.0	22.0	14.4	発生なし
	2.0	21.5	17.8	発生なし
新場	0.0	21.5	16.8	発生なし
	2.0	20.9	21.8	発生なし
平松	0.0	22.6	7.7	発生なし
白洲	0.0	21.7	7.3	発生なし
	1.4	21.0	21.1	発生なし
雄踏	0.0	21.7	9.8	発生なし
塩田	0.0	20.5	18.5	発生なし
湖口	0.0	20.0	33.3	発生なし
新居	0.0	20.0	32.6	発生なし

調査日：6月6日(火)

提供日：令和5年6月7日(水)  
 静岡県水産・海洋技術研究所浜名湖分場  
 (TEL 053-592-0139)



- 一部の地点において、カキの変色を引き起こしたり魚類の鰓(えら)に突き刺さるなどの影響が懸念される「ケラチウム・フルカ」や、下痢性貝毒の原因種とされる「ディノフィシス(*Dinophysis*)属」の渦ベン毛藻がわずかに確認されました。現在の密度では、注意・警戒が必要なレベルではありませんが、今後の動向を注視していきます。
- 湖内全域で、珪藻(二枚貝の餌)はあまり見られませんでした。また、先週末の大雨の影響により、水色の濁りや塩分の低下(特に表層の低下が顕著)が確認され、流木等のゴミも非常に多い状況でした。